

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年11月13日
【四半期会計期間】	第88期第2四半期（自 2020年7月1日 至 2020年9月30日）
【会社名】	不二硝子株式会社
【英訳名】	FUJI GLASS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 小 熊 信 一
【本店の所在の場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 高 濱 英 司
【最寄りの連絡場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 高 濱 英 司
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第87期 第2四半期 連結累計期間	第88期 第2四半期 連結累計期間	第87期
会計期間	自2019年4月1日 至2019年9月30日	自2020年4月1日 至2020年9月30日	自2019年4月1日 至2020年3月31日
売上高 (千円)	1,258,357	1,331,072	2,452,971
経常利益 (千円)	82,272	110,120	66,135
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	51,539	68,797	46,823
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	107,960	270,129	145,934
純資産額 (千円)	2,800,504	3,092,140	2,838,478
総資産額 (千円)	3,954,140	4,373,500	4,016,666
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	25.07	33.47	22.78
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	68.8	68.8	68.7
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	88,838	40,908	159,911
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	34,011	62,825	71,211
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	43,880	10,393	68,680
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	633,784	549,518	642,858

回次	第87期 第2四半期 連結会計期間	第88期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自2019年7月1日 至2019年9月30日	自2020年7月1日 至2020年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	15.19	24.49

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

##### 財政状態

##### (総資産)

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較して356百万円増加し4,373百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が65百万円、有価証券が17百万円が減少した一方で、投資有価証券が281百万円、受取手形及び売掛金(純額)が98百万円、建設仮勘定が30百万円及び商品及び製品が23百万円増加したことによるものであります。

##### (負債)

負債総額につきましては、前連結会計年度末と比較して103百万円増加し1,281百万円となりました。主な要因は、役員退職慰労金引当金が21百万円減少した一方で、繰延税金負債が93百万円及び長期借入金が34百万円増加したことによるものであります。

##### (純資産)

純資産総額につきましては、前連結会計年度末と比較して253百万円増加し3,092百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が195百万円及び利益剰余金が53百万円増加したことによるものであります。

##### 経営成績

当社グループの2021年3月期第2四半期の売上高につきましては、前年同四半期と比較して主に管瓶及びその他の売上が増加したため昨年実績を上回り、売上高1,331百万円(前年同期比5.8%増)となりました。

利益面につきましては、人員増に伴う稼働率の向上や製造歩留りの向上及びさらなる経費削減に取り組んだ結果、営業利益97百万円(前年同期比40.2%増)、経常利益110百万円(前年同期比33.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益68百万円(前年同期比33.5%増)とそれぞれ増加しました。

##### キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ93百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には549百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、40百万円(前年同四半期は88百万円の資金増加)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が110百万円及び減価償却費が27百万円があった一方で、売上債権の増加が99百万円、たな卸資産の増加が24百万円、役員退職慰労金引当金の減少が21百万円、法人税等の支払額15百万円及び未払消費税等の減少12百万円があったことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、62百万円(前年同四半期は34百万円の資金減少)となりました。これは主に定期預金の払戻による収入136百万円があった一方で、定期預金の預入による支出146百万円及び有形固定資産の取得による支出52百万円によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、10百万円(前年同四半期は43百万円の資金減少)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出73百万円及び配当金の支払による支出15百万円があった一方で、新規の長期借入金による収入100百万円によるものであります。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,142,000	2,142,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,142,000	2,142,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高 (千円)
2020年7月1日～ 2020年9月30日		2,142,000		107,100		582

(5) 【大株主の状況】

2020年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数 に対する所有株式数の 割合(%)
小熊 信一	千葉県市川市	981	47.75
小熊 千恵子	東京都文京区	116	5.65
小熊 雄二	福島県いわき市	94	4.60
前田硝子株式会社	東京都品川区東大井1-6-1	86	4.19
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区大手町1-5-5	75	3.67
大阪硝子株式会社	大阪府大阪市北区同心2-4-17	40	1.94
東京東信用金庫	東京都墨田区東向島2-36-10	28	1.37
中央商工株式会社	東京都中央区日本橋浜町2-44-4	28	1.37
橋本和夫	東京都中央区	28	1.37
菊池方子	埼玉県所沢市	19	0.96
計		1,499	72.93

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 86,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,051,100	20,511	-
単元未満株式	普通株式 4,700	-	-
発行済株式総数	2,142,000	-	-
総株主の議決権	-	20,511	-

(注) 単元未満株式数には、当社所有の自己株式が43株含まれております。

【自己株式等】

2020年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数 (株)	他人名義所有株式数 (株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株式数の割合 (%)
不二硝子株式会社	東京都墨田区文花二丁目15番9号	86,200	-	86,200	4.02
計		86,200	-	86,200	4.02

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人元和による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	618,928	553,069
受取手形及び売掛金(純額)	2 629,882	2 728,800
有価証券	252,040	234,065
商品及び製品	276,399	299,790
仕掛品	3,306	1,983
原材料及び貯蔵品	41,345	43,295
未収入金	38,935	35,863
その他	2,876	3,537
<b>流動資産合計</b>	<b>1,863,714</b>	<b>1,900,404</b>
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	339,635	336,921
機械装置及び運搬具(純額)	88,116	80,878
土地	442,518	442,518
建設仮勘定	7,470	38,253
その他(純額)	10,071	22,258
<b>有形固定資産合計</b>	<b>887,812</b>	<b>920,829</b>
<b>無形固定資産</b>		
	2,177	2,013
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,214,920	1,496,345
繰延税金資産	12,019	17,229
その他	43,329	43,483
貸倒引当金	7,307	6,807
<b>投資その他の資産合計</b>	<b>1,262,962</b>	<b>1,550,251</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>2,152,952</b>	<b>2,473,095</b>
<b>資産合計</b>	<b>4,016,666</b>	<b>4,373,500</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	129,335	147,416
1年内返済予定の長期借入金	111,800	104,400
未払法人税等	16,889	33,846
未払事業所税	7,304	3,639
賞与引当金	61,504	62,582
その他	153,238	127,244
流動負債合計	480,070	479,129
固定負債		
長期借入金	78,000	112,000
繰延税金負債	301,864	395,566
役員退職慰労引当金	176,176	154,704
退職給付に係る負債	113,245	111,120
資産除去債務	28,831	28,839
固定負債合計	698,117	802,230
負債合計	1,178,187	1,281,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,100	107,100
資本剰余金	582	582
利益剰余金	1,934,804	1,988,183
自己株式	33,848	33,848
株主資本合計	2,008,638	2,062,017
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	749,975	945,082
その他の包括利益累計額合計	749,975	945,082
非支配株主持分	79,864	85,040
純資産合計	2,838,478	3,092,140
負債純資産合計	4,016,666	4,373,500

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	1,258,357	1,331,072
売上原価	968,764	997,898
売上総利益	289,592	333,173
販売費及び一般管理費	219,918	235,459
営業利益	69,674	97,714
営業外収益		
受取利息	43	53
受取配当金	9,516	9,177
受取賃貸料	4,077	4,254
その他	2,432	2,638
営業外収益合計	16,069	16,123
営業外費用		
支払利息	1,034	849
賃貸費用	2,436	2,434
その他	-	433
営業外費用合計	3,471	3,717
経常利益	82,272	110,120
税金等調整前四半期純利益	82,272	110,120
法人税、住民税及び事業税	31,165	32,131
法人税等調整額	4,066	2,966
法人税等合計	27,098	35,097
四半期純利益	55,173	75,022
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,634	6,225
親会社株主に帰属する四半期純利益	51,539	68,797

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	55,173	75,022
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52,786	195,106
その他の包括利益合計	52,786	195,106
四半期包括利益	107,960	270,129
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	104,326	263,904
非支配株主に係る四半期包括利益	3,634	6,225

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	82,272	110,120
減価償却費	27,678	27,067
賞与引当金の増減額(は減少)	1,118	1,078
貸倒引当金の増減額(は減少)	273	362
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,953	21,472
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	6,583	2,124
受取利息及び受取配当金	9,559	9,230
支払利息	1,034	849
売上債権の増減額(は増加)	42,223	99,056
たな卸資産の増減額(は増加)	27,350	24,018
未収入金の増減額(は増加)	10,007	3,072
仕入債務の増減額(は減少)	2,048	18,081
未払金の増減額(は減少)	-	4,716
未払消費税等の増減額(は減少)	13,750	12,270
その他の支出	11,884	21,153
小計	90,605	34,135
利息及び配当金の受取額	9,551	9,250
利息の支払額	1,020	850
法人税等の支払額	13,042	15,173
法人税等の還付額	2,743	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	88,838	40,908
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	119,815	146,323
定期預金の払戻による収入	106,307	136,817
有形固定資産の取得による支出	19,679	52,372
投資有価証券の取得による支出	777	791
その他の支出	46	154
投資活動によるキャッシュ・フロー	34,011	62,825
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	50,000	100,000
長期借入金の返済による支出	77,600	73,400
配当金の支払額	15,230	15,156
非支配株主への配当金の支払額	1,050	1,050
財務活動によるキャッシュ・フロー	43,880	10,393
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	10,946	93,340
現金及び現金同等物の期首残高	622,838	642,858
現金及び現金同等物の四半期末残高	633,784	549,518

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
受取手形裏書譲渡高	88,171千円	129,846千円

2 資産の額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
受取手形及び売掛金(純額)	757千円	895千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
運賃及び荷造費	28,275千円	30,411千円
役員報酬	40,412	55,178
給料及び賞与	61,479	59,072
退職給付費用	4,840	4,413
役員退職慰労引当金繰入額	4,953	4,528
賞与引当金繰入額	13,076	12,324
減価償却費	3,440	4,247

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
現金及び預金勘定	602,854千円	553,069千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金等	209,089	237,616
有価証券勘定	240,019	234,065
現金及び現金同等物	633,784	549,518

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月27日 定時株主総会	普通株式	15,418	7.50	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年6月26日 定時株主総会	普通株式	15,418	7.50	2020年3月31日	2020年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間  
(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

当第2四半期連結会計期間末(2020年9月30日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末(2020年9月30日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動があるものの企業集団の事業の運営において重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末(2020年9月30日)

当社グループはデリバティブ取引を全く利用していないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	25円07銭	33円47銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	51,539	68,797
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	51,539	68,797
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,055	2,055

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月13日

不二硝子株式会社  
取締役会 御中

監査法人 元和

東京都渋谷区

指定社員

業務執行社員

公認会計士 加藤 由久

指定社員

業務執行社員

公認会計士 中川 俊介

## 監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「經理の状況」に掲げられている不二硝子株式会社の2020年4月1日から2021年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二硝子株式会社及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

## 監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業を前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

## 四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。  
監査人は、監査等委員会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。  
監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。